

2015年度(平成27年度)活動のご報告

セブン-イレブン記念財団は、セブン-イレブン店頭に寄せられたお客様の募金と(株)セブン-イレブン・ジャパンなどの寄付金をもとに、環境市民活動支援事業、自然環境保護・保全事業、広報事業、災害復興支援事業に取り組みました。

環境市民活動支援事業では、環境市民団体の活動費を支援する「環境市民活動助成」で264団体に1億6931万1877円、「東京の緑を守ろうプロジェクト助成」で41団体に590万5973円を支援しました。環境活動のリーダーを育成する「第18回環境NPOリーダー海外研修」では、6名を選抜しドイツ研修に派遣しました。

自然環境保護・保全事業では、4月10日に東京都との協働事業として、東京都八王子市川町の緑豊かな26.5haの都有地に、当財団が運営する2校目の自然学校「高尾の森自然学校」を開校しました。2007年4月、大分県に開校した「九重ふるさと自然学校」は、日本文理大学、大分大学に加え、今年度は久留米大学と連携事業を行い、行政の受託事業も増え活動が広がりました。森林の保護・保全活動では、全国15地域にある「セブンの森」で、加盟店や本部社員約1,600名が活動しました。また、海の環境保護・保全活動として、「東京湾UMIプロジェクト」のアマモの再生活動による海の森づくりに取り組みました。

広報事業では、生物多様性の保全や持続可能な利用につなげる活動を表彰する「生物多様性アクション大賞2015」、地球温暖化防止に取り組む地域活動を表彰する「低炭素杯2016」を共催しました。11月、国連生物多様性の10年日本委員会より支援に対し感謝状が授与されました。また、今年度は新たに「森のようちえん」の情報交換の場「森のようちえん全国交流フォーラム」を共催しました。

災害復興支援事業では、東日本大震災復興支援として被災した岩手県、宮城県、福島県の小学校465校に花苗などをお届けする「東北に緑を！セブン-イレブンプロジェクト」を実施しました。また、セブン-イレブン加盟店と本部社員が取り組んでいる「東日本大震災復興プロジェクト」では、宮城県大崎市の「宮城セブンの森」で植樹や森林整備を行いました。6月には「宮城セブンの森」の間伐材を使い障害者が働く就労継続支援事業所で製作した木製募金箱の授与式を行いました。このほか「セブンの森」の間伐材は、「高尾の森自然学校」の建材やセブン-イレブンの紙製飲料容器、セブンカフェのカップ、グループ社員の名刺などに活用しています。こうした活動が認められ、「第1回ウッドデザイン賞2015(審査委員長賞)」を受賞しました。

セブン-イレブン記念財団はこれからも環境をテーマとした社会貢献活動に取り組んでいきます。

皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。